

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園 東京リゾートアンドスポーツ専門学校	平成9年11月27日	五石 秀治	〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目12-6 (電話) 03-5615-9210
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	昼間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法に基づきスポーツインストラクター等として、健康スポーツ及びリゾートビジネスに従事しようとする者に必要な知識、技能を教授し、明日の健康産業、リゾート産業及びレジャー産業を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
健康スポーツ科	2年	120	240
アスレティックトレーナー科	3年	40	120
スポーツトレーナー科	2年	200	400
スポーツ保育科	3年	40	120

<カリキュラム（科目配当表）について>

カリキュラム（科目配当表）
https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/pdf/course_tokyo.pdf

<シラバスについて>

学科	学年	シラバス
健康スポーツ科	1年	
	2年	
アスレティックトレーナー科	1年	
	2年	
	3年	
スポーツトレーナー科	1年	
	2年	
スポーツ保育科	1年	
	2年	
	3年	

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覽管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件と「目指すべき人材像」について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
健康スポーツ科	インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。
アスレティックトレーナー科	アスレティックトレーニング学の知識を有し、アスレティックトレーナーとしてスポーツ・医療・健康・教育現場、すべての分野でプロフェッショナルに活躍できる。
スポーツトレーナー科	トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。
スポーツ保育科	幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる

<取得可能な資格について>

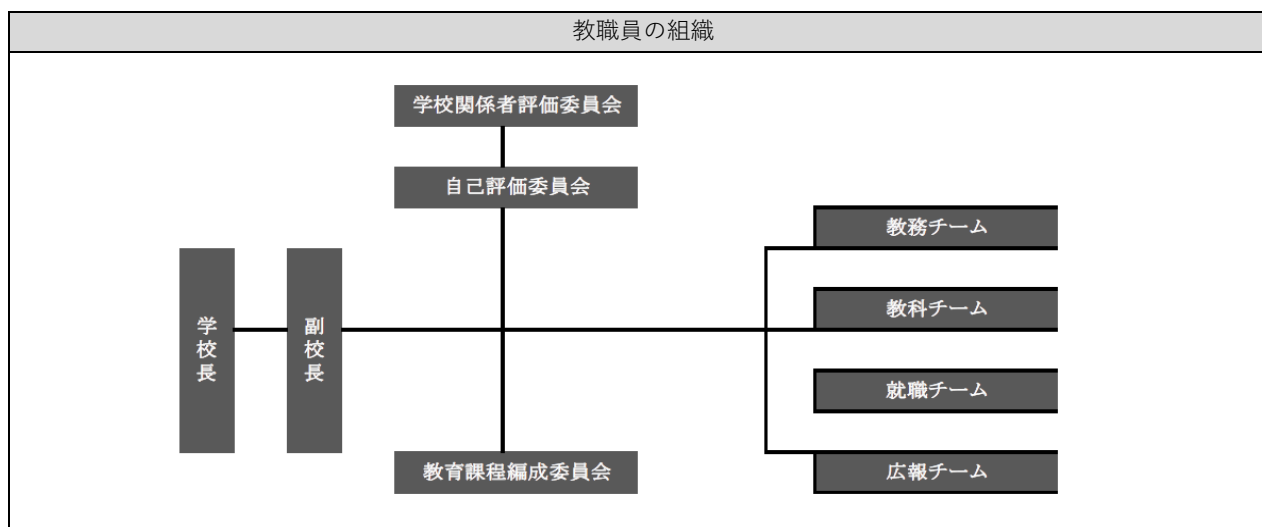
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/jobdata/skill_introduction.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	21
兼任教員	37
事務職員	10



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
青山 壮士	トレーニング理論	中学校・高等学校1種 保健体育 教員免許 新潟県内・静岡県内高等学校勤務
大友 仁	トレーニング指導実践	日本体育協会公認アスレティックトレーナー 日本プロサッカーリーグ トレーナー
平 治郎	コンディショニング	日本体育協会公認アスレティックトレーナー 神奈川県内高等学校サッカー部 トレーナー
井出 英輔	キッズレクリエーション	保育士資格 東京都内保育園勤務

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/jobdata/support.html
実習実技への取組	<p>カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。</p> <p><学外実習 全学科> ※実習期間・時期等は学科によって異なる 各専門業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。 関連業界の企業・団体と学校との相互理解から、事前に学習計画を共有し、実習での課題解決に向けて、体系的な活動・取り組みをしていき、その事後の評価・フィードバックを積極的に行っていくことで、教育成果の質・量ともに高めていく。 担当教員による実習期間中の訪問も実施し、適宜課題発見等のケアを行っていく。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
<p>教科担当と担任が連携を図り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、常に情報共有を行っている。年に2～3回程度、個人面談を行い、生徒の状況を把握するようにしている。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。</p> <p>また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。</p>

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/guidelines/pdf/r_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-sports/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---

⑨学校評価

自己評価・学校関係者評価結果	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/sports/28_tokyo-sports.pdf
----------------	---